



8月16日(日)に大石田まつり「最上川花火大会」が開催され、訪れた多くの観客を魅了しました。同花火大会は、永久橋「大橋」の完成を祝い始まったまつりで、90年以上の歴史がある伝統の花火大会です。

当日は町民号「20号玉5連発」をはじめとした大型花火や、幻想的な創造花火など約3000発の花火が打ち上げられ、大石田の夜空に大輪の花を咲かせました。

そして、同日には、二十歳を迎えた若者による成人神輿も行われ、大橋、四日町地区を練り歩き、活気あふれる神輿姿を披露していました。

# 夜空を彩る大輪の花